

外国語科ロイロノート活用事例集

【内容】6年 外国語科

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】 外国語科の授業は、教科書だけでは定着が難しいと感じている。そこで、ロイロノートを毎時間活用し、楽しく英語表現に親しめるようにしている。今回は外国語科の授業の流れとロイロノートの活用方法を紹介する。

①英単語の学習

新出英単語を使ってビンゴゲームなど、ゲームを通して英単語を覚えられるようにしている。また、職業についての単語は、語尾の違いをシンキングツールで考えさせた。



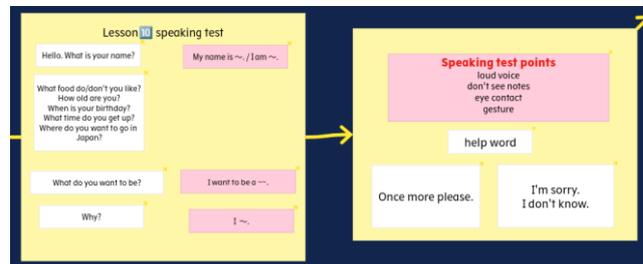
②英語表現の学習

英語は自分事として考えることが一番だと思う。そこで、ロイロノートで文章を作成するようにしている。また、その際に、伝えたいことに合ったイラストや写真を付けるようにして、視覚的にも理解ができるようにしている。



③学習内容の確認

A L Tと協力して、スピーキングテストを取り入れるようにしている。会話のやり取りの流れやポイントを示したり、ヘルプワードを練習したりして、テストに臨むようにする。回数を重ねるごとに、ジェスチャーやアイコンタクトが良くなっている。



【終わりに】

ビンゴゲームなどの準備には時間は掛かるが、一度作ると復習としても活用ができる。今後もロイロノートを積極的に取り入れて、英語学習が充実したものになるようにしたい。シートの録音機能を使った学習も取り入れたいと考えている。

☆教育委員会指導主事より☆

外国語の授業に関するたくさんの取組を報告していただきありがとうございました。今後、シートの録音機能の活用を考えているとのことですが、音声や動画を容易にやり取りできるのはデジタルならではの部分と言えます。学習者が自分の学びを調整する中で、音声や動画による情報があれば、助けになることもあるのではないのでしょうか。そこにかかる手間と得られる効果を十分吟味しながら研究を進め、活用を検討してみてください。